

2013. 10【vol.40】

水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社 発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

- | | |
|---|----|
| 1. 関西支社管内の気象と水源状況 | 1p |
| 2. 台風18号におけるダム等の効果について | 2p |
| 3. 総合技術センターの紹介 | 6p |
| 4. 水に関する一口メモ ②
昨今話題の男(ひと)“白洲次郎”はダム屋の大先輩だった | 7p |
| 5. 環境報告書2013のご紹介 | 8p |
| 6. 水源地マラソン紀行(その16) ～ 続々番外編 ～ | 8p |
| 7. イベント情報 | 9p |
| 編集後記 | |



1. 関西支社管内の気象と水源状況

9月の気象状況は、気象庁の発表によると、西日本では、上旬は秋雨前線や台風17号の影響を受けて大雨となり、また、中旬は秋雨前線と台風18号の影響により大雨となったところが多かった。なお、この台風18号は長時間にわたり強い降雨をもたらし、気象庁は、京都府・滋賀県・福井県に、運用後初めて「大雨特別警報」を発令しました。（台風18号におけるダム等の効果については、次頁以降に掲載しております。）

関西支社管内の水源における月間の降水量は、各施設とも平年の降水量を大きく上回りました。

～ 水資源機構(関西支社管内)の水源状況 ～

平成25年10月28日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m ³)	貯水率(%) ^{※2}	降水量(mm) ^{※3}	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	115.32	1,151	23.4	289	172
青蓮寺ダム	276.44	1,860	97.4	400	211
室生ダム	287.54	657	49.5	341	198
布目ダム	283.47	1,225	96.5	323	178
比奈知ダム	291.33	901	58.9	423	252
一庫ダム	140.03	1,733	64.7	353	175
日吉ダム	185.45	2,606	72.4	443	163
琵琶湖	B.S.L. 4cm	—	—	416	137
7ダム 合計	—	10,133	58.8%	—	—

※1 琵琶湖水位は、10月28日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しております。

※3 降水量については、9月1日～9月30日までの累計値で、琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

水資源機構の関西支社管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

水資源機構関西支社 HP ↓↓↓

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(関西支社 施設管理課)

2. 台風18号におけるダム等の効果について

1. 台風18号の概要

台風18号は、本州上陸直前まで発達し続け、平成25年9月16日6時に965hPaを記録し、同日8時前に愛知県豊橋市付近に上陸しました。その後、山梨県や福島県などを通過し、三陸沖へと抜け、同日21時に北海道の東で温帯低気圧と変化しました。

この台風は、長時間にわたり、強い降雨をもたらし、気象庁は、16日5時5分、京都府、滋賀県、福井県に、運用後初めて『大雨特別警報』を発令しました。



※ 出典: 気象庁HP 台風経路図より(一部加筆)

台風18号9月16日 6時時点の状況

- 位置 浜松市の南西約120km
- 大きさ階級 大型
- 中心気圧 965hpa
- 最大風速 中心付近で30m/s
最大瞬間風速は45m/s
- 進行方向 北北東
- 進行速度 40km/h
- 暴風域 南東側110km、北西側70km
- 強風域 南東側650km、北西側460km

2. 淀川水系における水資源機構ダムの防災操作(洪水調節)状況

平成25年9月15日から16日にかけて大型の台風18号および前線による大雨に伴い、水資源機構が管理する淀川水系の7ダムにおいて防災操作(洪水調節)を実施し、ダムの下流河川の水位低下等洪水被害軽減を図りました。特に、日吉ダムでは計画最大流入量を上回る流入量を記録したほか、一庫ダムと布目ダムでも管理開始以降、最大の流入量を記録しました。

日吉ダムでは、ダムの容量を最大限活用して洪水を貯留する操作を行い、下流への流量を低減しました。また、木津川上流ダム群では、5ダムの統合操作により名張川及び淀川本川の水位低下に努めました。

各ダムでの観測雨量、最大調節量等は下記のとおりです。

各ダムにおける出水と洪水調節(防災操作)の状況

河川名	ダム名	流域面積 (km ²)	流域平均累計雨量(mm)	最大調節時流入量 (m ³ /s)	ダムでの最大調節量 (m ³ /s)	最大調節時放流量 (m ³ /s)	貯め込み量 (千m ³)
木津川	高山ダム	615	290	1,576	1,123	453	23,712
木津川	青蓮寺ダム	100	368	497	326	171	4,991
木津川	室生ダム	136	226	330	251	79	3,951
木津川	布目ダム	75	252	195	145	50	5,927
木津川	比奈知ダム	76	440	315	246	69	2,708
桂川	日吉ダム	290	345	1,694	1,546	148	44,552
猪名川	一庫ダム	115	293	468	320	148	8,035

3. 日吉ダムの効果

■台風18号により日吉ダム流域では、1時間雨量で流域平均最大34mm、降り始めからの総雨量は345mmを観測しました。

■日吉ダムでは、計画最大流入量1,510m³/sを超える1,694m³/s(管理開始以来最大)の最大流入量があり、このうち、流入量の約9割(1,546m³/s)を調節し、4,455万m³(京セラドーム大阪約37杯分)をダムに貯留しました。

■この結果、ダム下流の保津橋(ほづばし)(亀岡市)において、水位を約1.5m低下させ、亀岡市や下流の京都市街地に甚大なはん濫被害が生じることを防ぐことができましたと考えています。

■日吉ダムでは、最大限洪水を貯留する操作を行い、ダム下流の嵐山地点での水位を約0.5m低下させる効果があったものと推定され、嵐山周辺において、浸水被害が発生しましたが、ダムで貯留したことにより水位低下効果があったものと推測されます。

※国土交通省近畿地方整備局河川部の発表資料「平成25年台風18号災害報告」による。詳細については、HPをご覧ください。<http://www.kkr.mlit.go.jp/river/saigai/20130916typhoon18.html>

日吉ダムおよび保津橋地点、嵐山地点 位置図

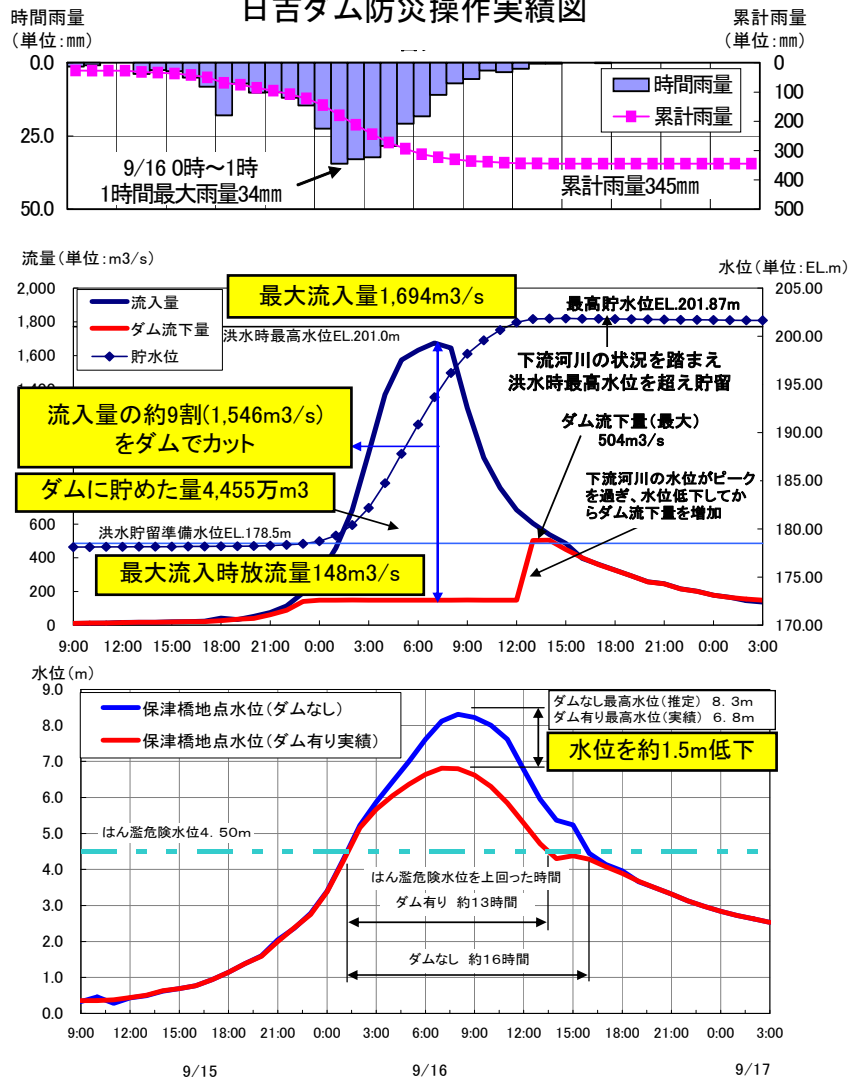


平成25年9月15日
(貯水位EL.178.17m)



平成25年9月16日
(最高貯水位EL.201.87m)

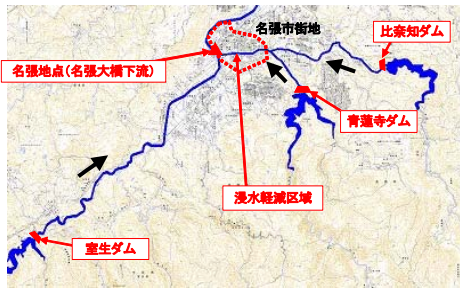
日吉ダム防災操作実績図



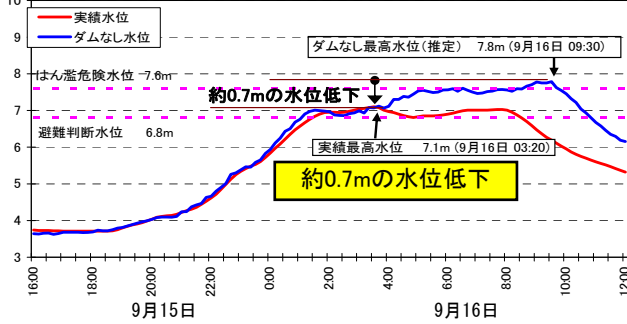
4. 名張川3ダム(青蓮寺、室生、比奈知ダム)の効果

- 台風18号により名張川3ダムの流域では、1時間雨量で流域平均最大33mm、降り始めからの総雨量は青蓮寺ダムで368mm、室生ダムで226mm、比奈知ダムで440mmを観測しました。
- 名張川では浸水被害の恐れがあったことから、淀川ダム統管理事務所と連携して、名張川3ダムで統合操作を行い、名張川3ダムで**1,165万m³** (京セラドーム大阪約10杯分)を **ダムに貯留**しました。
- この結果、ダム下流の名張地点(名張市)において、名張川の水位を**約0.7m**低下させ、名張地点のはん濫危険水位を下回ることができました。

名張川3ダム(青蓮寺、室生、比奈知)および名張地点 位置図



名張地点水位



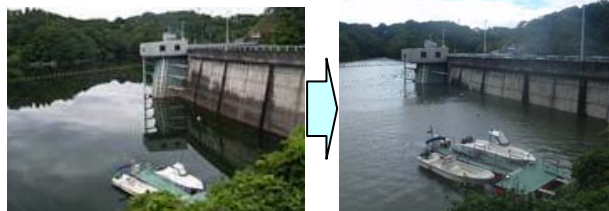
【比奈知ダム】



平成25年9月15日 (貯水位EL.291.44m)

平成25年9月16日 (貯水位EL.300.64m)

【青蓮寺ダム】



平成25年9月15日 (貯水位EL.272.39m)

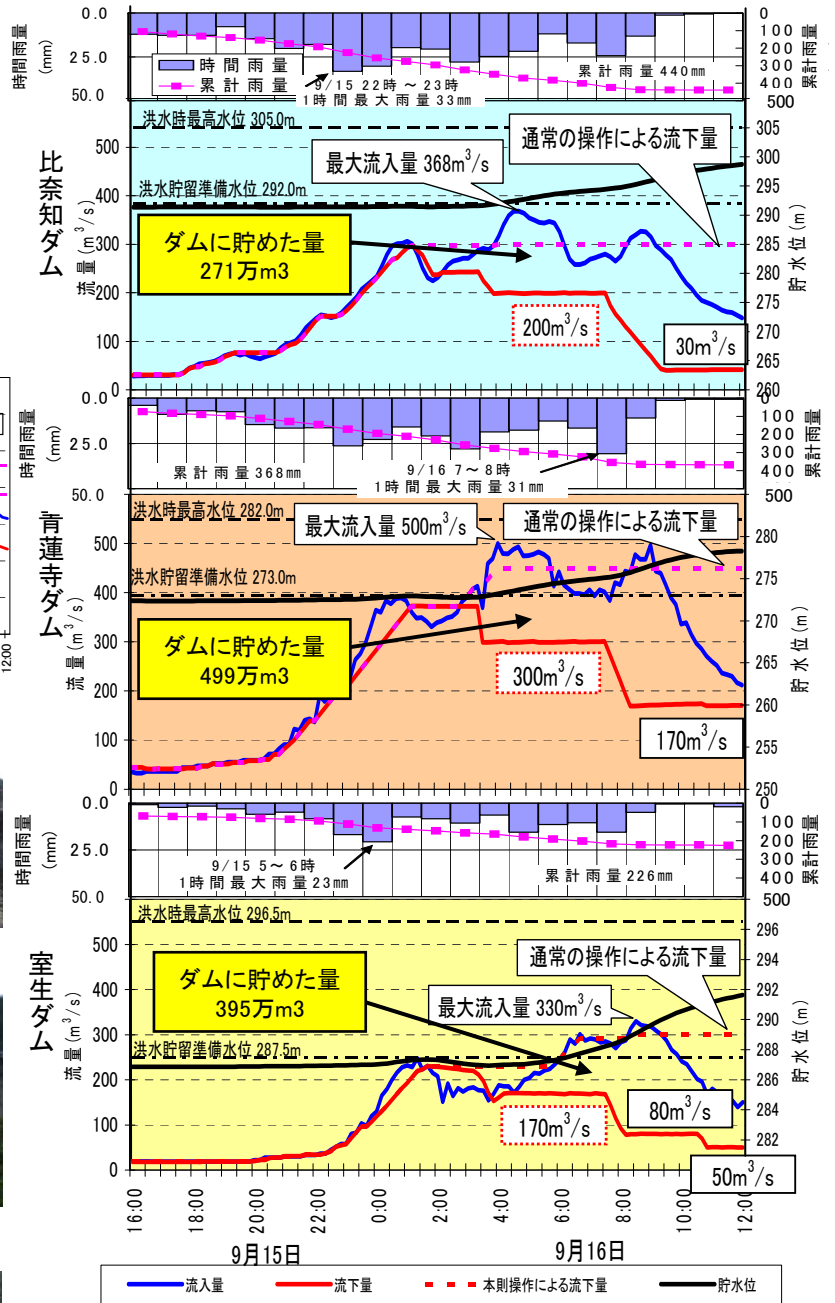
平成25年9月16日 (貯水位EL.278.42m)

【室生ダム】



平成25年9月15日 (貯水位EL.287.01m)

平成25年9月16日 (貯水位EL.292.66m)



5. 他のダムの効果

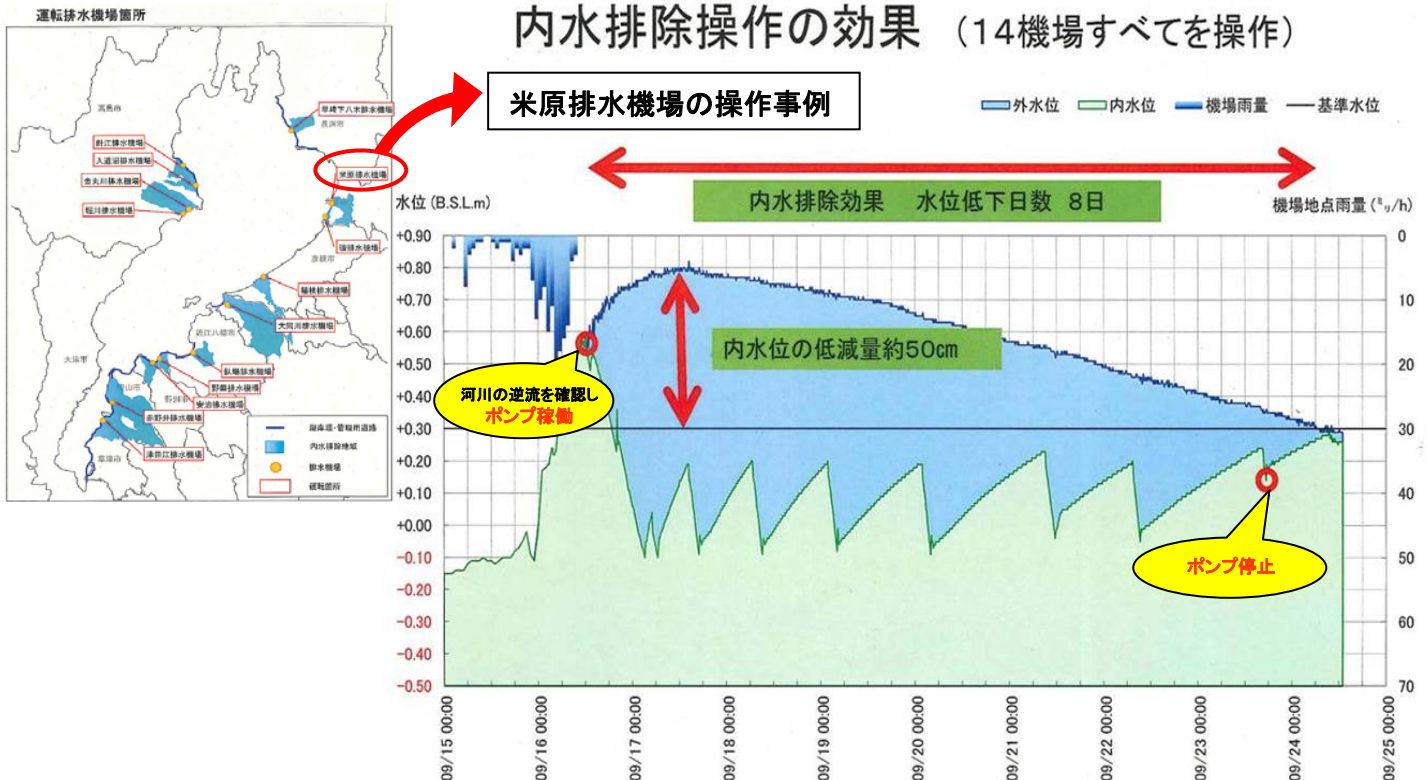
■高山ダムでは、ダム下流河川、木津川の水位を低下させるため、淀川ダム統合管理事務所と連携して、最大流入量1,595m³/sの洪水に対して、最大で流入量の約7割(1,123m³/s)を調節し、2,371万m³(京セラドーム大阪約20杯分)をダムに貯留しました。この結果、ダム下流の有市地点(笠置町)では、水位を約1.1m低下させ、これにより国道163号の冠水時間を短縮しました。

■布目ダムでは、ダム下流河川、木津川の水位を低下させるため、淀川ダム統合管理事務所と連携して、最大流入量195m³/sの洪水に対して、流入量の約7割(約145m³/s)を調節し、593万m³(京セラドーム大阪約5杯分)をダムに貯留しました。この結果、ダム下流の興ヶ原(おくがはら)地点(奈良市)では、水位を約1.3m低下させ、ダム下流地域の洪水被害を軽減しました。

■一庫ダムでは、468m³/s(管理開始以来最大)の最大流入量があり、このうち流入量の約7割(320m³/s)を調節し、804万m³(京セラドーム大阪約7杯分)をダムに貯留しました。この結果、ダム下流の多田院(ただいん)地点(川西市)では水位を約0.9m、小戸(おおべ)地点(川西市、池田市)では水位を約0.6m低下させ、洪水被害の軽減に努めました。

6. 琵琶湖開発施設での内水排除の効果

■琵琶湖開発総合管理所では、琵琶湖湖岸堤に接する低い土地の浸水を防ぐため、水門・樋門を閉鎖し、湖岸堤の内側に貯まった水を全14機場のポンプ運転により、排水しました。この結果、琵琶湖沿岸の低い土地での浸水日数を最大8日間程度軽減する効果があったと推定されます。



詳しくは、水資源機構各ダム(施設)のHPをご覧ください。

(関西支社) <http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/kisyahappyou/pdf/130918kisyahaltupyou.pdf>

(日吉ダム) <http://www.water.go.jp/kansai/hiyoshi/html/activity/20131017.pdf>

(名張川3ダム・高山ダム・布目ダム) <http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/information/press.htm#n20130919>

(一庫ダム) http://www.water.go.jp/honsya/honsya/kisya/pdf/2013/09/130917_hitokura1.pdf

(琵琶湖開発) <http://www.water.go.jp/kansai/biwako/html/news/13100101/13100101.pdf>

3. 総合技術センターの紹介

このコーナーでは、水資源機構の「総合技術センター」についてご紹介します。

総合技術センターでは、水資源に関する専門的な経験を基に国や地方公共団体などからダムに関する業務を受託しております。

今回は、「ダム管理用電気設備工事」や「取水放流機械設備工事」に係る技術支援業務についてご紹介します。

【概要】

ダムの建設では、ダムの本体工事のほか電気設備や機械設備などの工事も必要となります。

当センターでは、前回ご紹介した「ダム本体工事施工監理業務」のほかに、平成22年度から平成24年度にかけて、大門ダム（奈良県）の「ダム管理用電気設備工事」と「取水放流機械設備工事」に係る技術支援業務を実施しました。

【具体的な支援内容】

○ ダム管理用電気設備工事の技術支援

「ダム管理用電気設備工事」については、ダム管理用電気設備の設計のほか積算や施工管理にあたり、当センターの職員1名（ダムの電気設備に関する専門技術者）が奈良県郡山土木事務所に常駐して、設計コンサルタント業者や工事施工業者などに対する技術評価や技術指導を実施しました。

なお、技術指導については、所要の品質や安全性を確保し、事業工期とコスト縮減などにも留意しながら、発注者の立場で実施をしました。

○ 取水放流機械設備工事の技術支援

「取水放流機械設備工事」については、同土木事務所に当センターの職員1名（ダムの機械設備に関する専門技術者）を月に2回の頻度で派遣し、工事の書類審査や施工管理を実施しました。

工事の書類審査では、設計書のほか工事発注図面や数量計算書について、品質や安全性の審査を行い、必要に応じて問題点の抽出とその対応案を同土木事務所へ提示しました。

一方、工事の施工管理では、奈良県郡山土木事務所の工事監督職員とともに、工事の中間検査ほか出来高検査や竣工検査に臨場することや、工事施工業者から提出された資料と設計図書（仕様書や図面など）との照合を行い、その結果を同土木事務所に報告しました。

（大門ダムは平成24年度に竣工し、平成25年4月より管理に移行しています。）

総合技術センターHP : <http://www.water.go.jp/kanto/sougicenter/guide/index.html>

4. 水に関する一口メモ ②

～ 昨今話題の男“白洲次郎”はダム屋の大先輩だった ～

「戦後史の隠された巨人」「新憲法誕生の生き証人」「吉田茂首相の片腕」「従順ならざる唯一の日本人」と多くの形容詞を持つ昨今話題のひとが、白洲次郎です。

私は、かねてよりダムの地元の人々が“土の人”であるのに対して、転勤稼業で水系を渡り歩いて水創りに従事する僕たち水機構マンは“風の人”と自称しておりましたので、今から数年前に書店で目に飛び込んできた“風の男”“風の生涯”という見出しの書、「風の男 白洲次郎」（青柳恵介著）にたちまち興味をひかれ、通勤電車内で一気に読みました。

終戦直後の「日本国憲法」の誕生の現場に立ち会い、吉田茂首相の懐刀としてGHQ相手に辣腕をふるい近代民主国家の礎を築いた男のもう一つの素顔は、なんと私達ダム屋の大先輩であった。

（以下に、本文より一部分を抜粋紹介）

「商工省の改組にひきつづき、公的には何の地位にもついていない白洲次郎が次に取り組んだ仕事は電気事業再編成であった。・・・東北電力会長（S26～34）時代の白洲にもどろう。・・・東北電力は他の電力会社にもまして水力開発が期待され、中でも只見川水系の電源開発は国家的事業といってもよかった。・・・

東北電力の作業員の作業服は上下真っ赤なつなぎ服（降雪中に鉄塔にのぼってもよく目立つように）にしると命令する。ダム現場にランド・ローバーを五百台入れろと命令する。・・・白洲は度々東北に出向いたが、旅費は一切自弁、仙台の本社に顔出すよりもダムの工事現場に姿を見せる方がはるかに多かった。作業着を着こみ、ゴム長靴を履いてランド・ローバーを運転し、工事現場の人々と楽しそうに話し合っていた。白洲が会長を務めていた期間に、東北電力は只見川水系に柳津（やないづ）ダム、片門（かたかど）ダム、宮下ダム、上田（うわだ）ダムと次々に発電所（ダム）を作っていた。・・・前田建設社長の前田又兵衛に当時の思い出を語って貰うと、白洲次郎という人はどんな人物か何も知らなかったが、とにかく恐い人だということだけを聞いていた、という。強烈な性格の持ち主で、人を怒鳴りつけ、ブン殴る、その上蹴っ飛ばして、さらに唾をひっかけるような男だと聞いていた。ところが、白洲は現場に現れると、第一線の労働者達と親しげに話しをし「フンフン」とその人達の話の話を聞いている。ランド・ローバーの横に乗れと言われて、おそろおそろ隣に座ると、「おまえの所のトラックは色々な会社のを使ってるが、一つの車種に揃えた方が部品を兼用できるから合理的だぞ」とか、「人に好かれようと思って仕事をするな。むしろ半分の人間に積極的に嫌われるように努力しないと、ちゃんとした仕事はできねえぞ」とか、ためになる話をしてくれる。おまけに「おまえのガニ股や、面つきはいかにも土建屋らしくって結構だ。生涯それを捨てるな」と、褒められているのか貶されているのかわからないようなことまで言われる。

現場の所長には、とにかく事故を出すな、安全に気をつけろと言っておいて、一人ランド・ローバーを運転して去って行く。まるで谷から吹いて来る風のように爽やかで消えることの早い人だと思ったという。・・・

白洲は現場を訪れる時には、現場で働く作業員の家族のために必ずチョコレートやキャンディーなどの土産を持参し、夜は人夫達と酒を飲み、その苦労話にしばしば涙を流した。・・・

「風の男 白洲次郎」（青柳恵介著、新潮文庫）より

* 下線は強調の意味で原がつけたものである。「一つの車種に揃えた方が部品を兼用できるから合理的だぞ」という指摘は、今では機械設備のストックマネジメントの基本である。因みに、次郎の妻田姓榊山正子は「近江山河抄」に代表される随筆家「白洲正子」である。



東北電力のダム工事を視察に訪れて
（「風の男 白洲次郎」より引用）

【参考】ダム年鑑 2006、日本ダム協会 より

ダム名	タイプ	堤高(m)	最大出力(kW)	最大使用水量	竣工年	水系・河川名
宮下ダム	重力式	53.0	94,000	200 m ³ /sec	1946	阿賀野川・只見川
柳津ダム	重力式	34.0	75,000	345 m ³ /sec	1953	阿賀野川・只見川
片門ダム	重力式	29.0	57,000	345 m ³ /sec	1953	阿賀野川・只見川
本名ダム	重力式	51.5	78,000	260 m ³ /sec	1954	阿賀野川・只見川
上田ダム	重力式	34.0	63,900	284 m ³ /sec	1954	阿賀野川・只見川

（水資源機構上席審議役 原 稔明）

5. 環境報告書2013のご紹介

水資源機構では、事業活動に伴う様々な環境保全の取組を全社的に行っており、平成24年度の取り組みについてまとめた「環境報告書2013」を以下のホームページで公表していますので、是非ご覧ください。

機構HP：<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/torikumi/kankyo/houkoku/index.html>

(関西支社 設計環境課)

6. 水源地マラソン紀行 (その16) ～ 続々番外編 ～

9月は30℃を超える日が続いていましたが、最近では、気温が下がっていくのを走るたびに感じます。走るには良い季節となりました。

前月号に引き続き、水源地域外で行われ、苦闘した大会の数々をご紹介します。

今回は昨年(2012年)の12月23日(日)に行われた『万博クロスカントリー大会』の様をお伝えします。

この大会は、今年で29回目を迎え、毎年、年末に行われるクロスカントリー大会として北摂地方では定着しており、出場者数も5千人を超えるマンモス大会です。Jリーグのガンバ大阪のホームグラウンドである「万博記念競技場」を発着することもあり、競技場のピッチに立てることは、Jリーグの選手になったような気分が何かちょっと嬉しく思えます。

大会は、距離別に3km、5km、10kmの種目があり、起伏に富んだ万博公園内を走ります。

年の瀬に開催されることもあり、サンタクロースのバンド演奏や、箕面自由学園のチアリーダーの応援があり、大会を盛り上げてくれますが、チアリーダーの応援は、出演時間と出走する時間帯が異なり、見るできないのはとても残念です。

何はともあれ、10kmの種目は千人弱の老若男女が12時前に一斉にスタートします。スタート直後とゴール前は舗装道路を走りますが、「クロスカントリー」と名のつくとおり、ほとんどは芝生や地面を走ります。ところが地面と芝生は前日に降った雨で湿った状態。ましてや先頭を走るわけでもなく、自ずと踏み荒らされたところを走らなければなりません。半分くらい走ったところでシューズ・靴下は泥水にまみれ、戦意喪失になります。また、ゴール前約1キロの競技場への道は結構きつい上り坂で、時間がかかるのと、年末という時節柄、連日の忘年会で体に疲れがたまっているせいか、ゴールタイムは思った以上に延びません。

「万博公園」と聞くと、平坦なコースをイメージしますが、実はとても苦しいコースなのです。

万博公園での大会は、他にも「万博ハーフマラソン大会」などありますが、近年でワースト記録を出したのも万博公園を走った大会でした。

そんな苦しい大会ではありましたが、初めて出場した一昨年では、若い女性から御礼を言われたことがありました。ランニング姿で走っていたのが目立ったのか、恰好で目立つ私を目標して走ったというのです。喜んでよいやら、微妙なニュアンスですが、若い女子から御礼を言われるとまんざらではありません。いろんな大会に出場すると思えばよいことあるものです。

1年を締めくくるには辛いレースとなりますが、これもまた試練です。さて、来月からは各地で大会が開催されますのでそれらの大会の様子をお伝えします。

(ダムを走る男)

7. イベント情報



10月以降に予定されているイベントなどをご紹介します。

開催時期	行事名・主催	開催場所	概要
10月27日(日) (日吉ダム)	ひよし”水の杜”フェスタ 南丹市日吉支所地域振興課	スプリングスパーク 京都府南丹市日吉町中	催しをはじめ、農林産物や加工食品の販売もあります。 日吉ダムの見学もできます。
(南丹市HP) http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/			
11月3日(日)	来て見て体験in村野浄水場 大阪広域水道企業団	大阪広域水道企業団 村野浄水場 大阪府枚方市竹見台	浄水場の見学のほか、たくさんのイベントやブースが 出展されます。
(大阪広域水道企業団HP) http://www.wsa-osaka.jp/gaiyou/murano/event.html			
11月3日(日) (一庫ダム)	黒川里山まつり 黒川里山まつり実行委員会	黒川公民館及び黒川地区周辺 兵庫県川西市黒川	一庫ダムの上流にあって、日本の里100選にも 選ばれた黒川地区で一日 楽しまれてはいかかですか。
(北摂里山博物館HP) http://hitosato.jp/festival/kurokawamatsuri.html			
11月3日(日) (布目ダム)	山添ふれあいまつり2013 山添むらまつり実行委員会 問い合わせ先 0743-85-0048	山添村ふるさとセンター 奈良県山辺郡山添村大西	会場では、ご当地グルメや地元で取れた野菜などが 販売されるほか、たくさんの イベントがあります。
11月16日(土) ・17日(日) (日吉ダム)	向日市まつり 向日市まつり実行委員会事務局(市民参画課内) 問い合わせ先 (代)075-931-1111	向日市競輪場 京都府向日市寺戸町西ノ段5番地	様々な趣味の店や模擬店の外、多数のイベント などがあります。
11月23日(土) (高山ダム)	むら生き生きまつり 南山城村産業生活課 問い合わせ先 0743-93-0105	南山城村総合運動公園(未定) 京都府相楽郡南山城村大字田山	お茶やシタケなど南山城村の特産品などの販売や たくさんのイベントがあります。

○ 名張ひなち湖紅葉マラソン大会

開催日 : 11月17日(日)

開催場所 : 三重県名張市(比奈知ダム)

主催者 : 名張ひなち湖紅葉マラソン大会事務局 電話 : 0595-62-4141



○ 川西一庫ダム周遊マラソン大会

開催日 : 11月17日(日)

開催場所 : 兵庫県川西市(一庫ダム)

主催者 : 川西一庫ダム周遊マラソン大会実行委員会事務局 電話 : 072-740-1245

川西市HP : <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shimin/sports/sportsjigyo/015515.html>

○ やまぞえ布目ダムマラソン

開催日 : 12月1日(日)

開催場所 : 奈良県山辺郡山添村(布目ダム)

主催者 : やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会事務局 電話 : 0743-85-0049

事務局HP : <http://www.vill.yamazoe.nara.jp/eventjoho/nunomedamumarason2012/nunomedamumarason.html>

★ 青蓮寺ダム湖周辺では、10月31日まで「ぶどう狩り」が楽しめます。

(青蓮寺湖観光村ぶどう組合HP) <http://www.s-budou.jp/grape/index.html>



(関西支社 利水者サービス課)

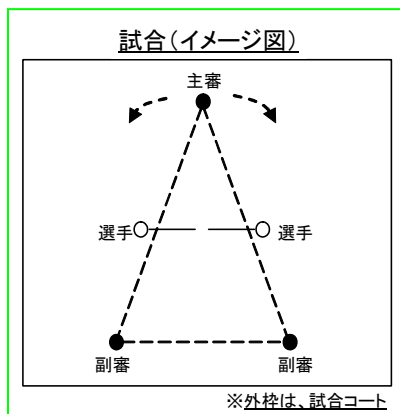
編集後記

めっきり朝晩は涼しくなってきましたが、皆さまにおかれましては、体調など崩されてはおりませんか？

私は、毎度似たようなネタで恐縮ですけど・・・、毎週土曜日は近傍の中学生に剣道の指導をしております。9月最後の土曜日に、近傍の中学が集まって練習試合が行われました。練習試合なので、試合をしていない学校の生徒が審判も行います。

ご存じの方もおられるでしょうが、剣道の試合の審判は、コート上で主審1名と副審2名の計3名で行うのですが、コレがなかなか難しいのです。試合を行っている選手は、当然動き回りますので、審判もその動きに合わせて、主審を頂点とした審判3名の配置が“二等辺三角形”の形をキープしつつ、コート上を動き回らねばなりません。コレが地味に難しいのです！！また、“一本(いっぽん)”となる有効打の見極めが大切であることは、言うまでもありません！

さて、私が指導している生徒達は、上手く審判できるか？という不安な気持ちで見えておりましたが・・・、やっちゃいましたあ・・・。試合が始まってから数分後、他校のある選手が非常にキレのある技を放ち、見事に決まった感がありました。その瞬間、審判(我が教え子)は有効打を見逃さなかった？・・・らしいのですが、旗が反対(逆)です！！(有効打を打った選手の方の旗を上げなければならないのですが、反対の選手の旗を上げているでは、あ～りませんか・・・が——(°д°;)——ン!!) それを見ていた他校の保護者からは「旗が逆なんやないの～・・・(呆)」の声が漏れ聞こえてくる始末。保護者の方は、目が肥えています。キビしい～(泣)。普段の稽古から、しっかり教えておくべきやったあ！と反省しております。“教え子は指導者の鏡”なんて言葉がありますが、顔から火が出るくらい恥ずかしい思いをいたしました。“教える”ことの難しさを実感し、人生修行の道は、果てしなく続くのであります。



(『剣の道に目覚めた男』より)



水資源機構ツイッター

http://twitter.com/jwa_PR

水資源機構関西支社

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai>

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。(耳寄りな情報もお待ちしております。)
mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp